

5年生キャンプ特集



7月13日、14日に実施予定だった5年生のキャンプが悪天候のため延期となり、21日(水)22日(木)に直前までの梅雨空がウソのような好天のもと、坊城平そして冠着山へと行って参りました。



5年生37名全員が元気に「インディージョーンズ」のテーマ曲を歌いながらいざ出発。



登っていく途中にはきれいなアジサイが出迎えてくれました。



冠着山頂は別世界のようなさわやかな風が吹き、気持ちよく昼食を食べた後、記念撮影。



練習の時のようには順調に火は着きませ

んでしたが「おこげ」のスパイスがきいた、おいしいカレーライスができました。

キャンプファイヤーでは、疲れを忘れて、フォークダンスを踊りまわりました。5年生のスタミナにはびっくり!!その後は、ちょっとしんみりと、グループごとに花火をしました。



2日目は、前日の夕方校長先生が届けてくださったパンでサンドウィッチを作って食べた後、ネイチャーゲームを楽しみ、森田先生が届けてくださったおいしいおにぎりを食べていよいよ下山。音楽会での各学年の歌をメドレーで歌いながら帰校しました。

最後まで元気な5年生でした。

県教育委員会より夏休みの子もたちの安全に向けてのリーフレットが届いています。お子さんと読みあわせをしていただき、事故や犯罪から身を守るための徹底をお願いします。よい夏休みを！

小学生の保護者の皆様へ

子どもたちの安全のために(夏休み編)

夏季、特に夏休み期間中は、子ども達が学校・保護者の保護下から離れて行動する機会が多くなり、加えて、夏特有の解放感から規範意識や防犯意識が薄れる傾向にあることから、子どもを対象とした性犯罪等の発生が懸念されます。

性犯罪等の子ども・女性対象犯罪は、大人や男性に比べて自己防衛能力が低い弱者をねらった卑劣な犯罪であり、被害者の心身に取り返しのつかない深い傷を負わせる憎むべき犯罪です。

また、比較的軽微な事犯でも、状況次第では被害者を死に至らしめる危険性ははらんでいます。これら犯罪の被害を未然防止するために、日頃から、関係機関等が様々な取り組みを行っているところではありますが、こうした大人達による保護に加え、子ども達が「自分の身は自分で守る」方法を知り、それを身につけていくことが必要です。

子どもの安全対策

【基本】

子どもの行動の把握

子どもの行動は、日頃から把握して下さい。

親子のコミュニケーション

日頃から親子のコミュニケーションを図って下さい。

子どもに教える

家庭で食事や団らんの時などに、子どもの安全について話し合い、自分の身は自分で守る必要があることや、子ども自身が自然と防犯行動をとれるよう、しっかりと指導して下さい。

【子ども達への指導事項】

声かけ・犯罪からの被害防止

危険なのは？

- ・塾、友達の家などへの外出の行き帰り
- ・遊びなどで1人で行動している子ども

危険な場所は？

- ・道路（特に人や車の往来が少ない裏通り、地下道、ガード下など）
- ・公園、空き地、駐車場、空き家・空きビル、マンションやビル内のエレベーター、階段、エントランス

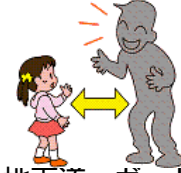
子どもが自分自身を守るには？

- ・1人で遊ばない。
- ・防犯ブザーやホイッスルを身につけ、日頃から使い方も知っておく。
- ・「どこで、誰と遊ぶのか」「何時ころ帰るのか」を家の人に言ってから出かける。
- ・知らない人に声をかけられても、絶対についていけない。

よい子の約束
「イカのおすし」



相手と距離をとる！



不審車のナンバーを覚える・メモする！



防犯ブザーを持ち歩く！



もしもの時は

叫ぶ 逃げる



助けを呼ぶ



～交通事故防止～

歩きや自転車で道路を横断するときは、必ず一度立ち止まり、近づいてくる自動車や自転車がいないか確かめ、自動車や自転車が通り過ぎるまで待つ。

自転車に乗っているときは、

- ・交差点では必ず一時停止して、安全確認をする。
- ・暗くなったらライトをつける。



ライボくん安心メール会員募集中！

長野県内で発生した子どもに対する声かけ事案等の情報をメール配信するシステムです。

会員登録はこちらから
県警ホームページ携帯版「モバイル長野県警察」

<http://www.pref.nagano.lg.jp/police/keitai/index.htm>

